

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校内練習船実習Ⅳ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0206		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	船用ディーゼル機関教範, 英語辞書, 機関便覧				
担当教員	山谷 尚弘				
<b>到達目標</b>					
船舶職員養成施設履修科目 三級海技士 (機関)					
機関に関する科目 (その一)					
出力装置 (ディーゼル機関)					
機関に関する科目 (その二)					
補機 (ポンプ)					
電気工学、電子工学及び電気設備					
甲板機械					
機関に関する科目 (その三)					
熱力学					
執務一般に関する科目					
燃料油及び潤滑油の特性					
当直、保安及び機関一般					
英語					
上記について理解する。					
<b>ループリック</b>					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1 実習の指揮が取れること		実習の指揮ができ、全体をスムーズに行動させることができた	実習の指揮が取れた	実習の指揮ができなかった	
評価項目2 機関室機器の運転ができること		機関室機器を安全に運転することができた	機関室機器の運転ができた	機関室機器の運転ができない	
評価項目3 機関当直ができること		十分な見回りをおこない安全な当直をおこなった	機関室の基本的な当直がとれた	機関室当直ができない	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年間の総まとめとしての実習とする。</li> <li>・ 機器の操作を積極的に体験する。</li> <li>・ 教科書で学んだ事項を実機を通して再確認する。</li> </ul>				
授業の進め方・方法	練習船「若潮丸」に乗船し、1泊2日船内にて生活する。船内では、講義、実習をおこない、実務を習得する。				
注意点	乗船することを原則として、課題、レポート、下船テストで総合評価する。				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1回 前期乗船実習 1泊2日	実習内容の説明	
		2週	2回 機関室及び船首・船尾の出入港作業	各所の出入港作業を体験する	
		3週	3回 //	//	
		4週	4回 甲板機械の操作	出入港作業を通して甲板機械の操作法を理解する。	
		5週	5回 //	//	
		6週	6回 機関当直と機関日誌	当直業務全般を理解する。	
		7週	7回 //	//	
		8週	8回 暖機・冷機作業と機器操作	実習生だけで暖機、冷機作業をおこなう。	
	2ndQ	9週	9回 //	//	
		10週	10回 //	//	
		11週	11回 発電機の並列運転	手動による発電機の並列運転を体得する	
		12週	12回 //	//	
		13週	13回 主機関の構造と運転	ディーゼル機関主要部の構造と整備方法を理解する。	
		14週	14回 //	//	
		15週	15回 機関英語	機関日誌記入に関する英語表記を理解する。	
		16週	期末試験	下船テスト	
後期	3rdQ	1週	16回 後期乗船実習 1泊2日	実習内容を説明する	
		2週	17回 出入港作業	機関部、甲板部全般の出入港作業を理解する。	
		3週	18回 //	//	
		4週	19回 機関当直と機関日誌	機関日誌の記入方法を理解する。	
		5週	20回 //	//	
		6週	21回 暖機・冷機作業	実習生だけで暖機、冷機作業を理解する。	
		7週	22回 //	//	
		8週	23回 //	//	
	4thQ	9週	24回 指圧図と馬力計算	指圧図の採集方法と馬力計算方法を理解する。	
		10週	25回 //	//	
		11週	26回 燃料弁整備	主機燃料弁の整備作業を通して、構造及び取扱い方法を理解する。	

	12週	27回	"	"
	13週	28回	ポンプ整備	渦巻きポンプと歯車ポンプを開放して、構造及び取扱い方法を理解する。
	14週	29回	"	"
	15週	30回	機関英語	機関部で使用される実務英語を理解する。
	16週		期末試験	下船テスト

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	25	25	0	30	20	0	100
基礎的能力	10	10	0	10	10	0	40
専門的能力	10	10	0	10	10	0	40
分野横断的能力	5	5	0	10	0	0	20